

エピネット日本版サーベイランスネットワークへの情報提供についてご協力をお願い

東京科学大学病院では針刺し切創、血液体液曝露事例（以下、針刺し切創等）の詳細なデータを、エピネット日本版により収集しています。これまで受傷者の方から提供していただいたデータは、当院における職業感染予防対策に役立てるため、Episysという集計・解析ソフトに入力され管理されています。

こうして集積された針刺し切創等に係るデータは、全国規模でまとめられることで、医療機関における感染予防対策、特に血液媒介病原体による感染予防や、医療従事者の労働安全衛生対策を進める上でのエビデンスとして生かすことができると期待されます。

こうした観点から、今般、当院でこれまでに収集した針刺し事例のデータを、一般社団法人職業感染制御研究会（代表 四柳宏教授：東京大学医科学研究所先端医療研究センター教授、エピネット日本版サーベイランスデータ事務局：International Safety Center）による針刺し切創サーベイランスネットワーク（エピネット日本版サーベイランスネットワーク）に提供することとなりました。

職業感染制御研究会により公開されている針刺し切創等を記録する定型フォーム（エピネット日本版）を利用している施設において収集された針刺し切創事例のうち、エピネット日本版の解析ソフトであるEpisys301 または401に記録された事例を収集します。もちろん、当院の担当者がそのような情報を外部に漏らすことはありません。サーベイランスの資料につきましては、一般社団法人職業感染制御研究会のウェブサイト上で提供されておりますので、ご覧ください (<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>)

なお、すでに当院で入力されたデータであっても、サーベイランスで利用されることについて同意がいただけない場合には該当するデータを削除いたします。サーベイランスのために提出した後であっても、データの削除には対応いたします。

当院で針刺し切創等の経験を有し、報告されている方で、ご自身のデータのサーベイランスでの利用を望まれない方は、当院感染管理担当者（感染制御部長 具芳明）にご連絡ください。

【研究課題名】 日本の医療機関における針刺し切創事例の収集と予防策の検討

【実施期間】 2024年9月～2028年3月31日(組み入れ基準：2021年4月1日から2024年3月31日までの期間)

【研究結果の公表】

一般社団法人職業感染制御研究会等、国内外の学術誌等の誌上も含め報告します。

【当院における連絡先】

東京科学大学病院 感染制御部部長 具 芳明

TEL 03-5803-5398 FAX 03-5803-0418

E-mail : yogu.cid@tmd.ac.jp